

## 施設指定管理者モニタリングチェックシート

施設名	豊明市ひまわり児童館
指定管理者名	株式会社ポピンズエデュケア
指定期間	令和2年 4月 1日 ~ 令和7年 3月 31日
所管課	子育て支援課

区分	項目	令和6年度 前半期(4~9月期)				令和6年度 後半期(10~3月期)			
		指定管理者	指定管理者 備考	市	市 備考	指定管理者	指定管理者 備考	市	市 備考
【施設全般の管理運営に関する業務】									
	条例施行規則に基づいた開館日・時間を遵守しているか	A		A		A		A	
	条例規則ほか各種規程を遵守のうえ、施設を供用しているか	A		A		A		A	
	人員体制が明確になっており、常に体制が整っているか	A		A		A		A	
	適切な有資格者を常に配置しているか	A		A		A		A	
	管理日誌等により、業務の記録をしているか	A		A		A		A	
	緊急事態発生時の対処マニュアルが整備されているか	A		A		A		A	
【利用者に関する業務】									
	利用者数、稼働率等が著しく低下していないか	A	改修工事等で、利用者は昨年度比では減だが、一昨年度比では増加	A	前年度比減少率24%(全館平均▲9%)であったが、工事の影響を多大に受けていると考えられる。	A		A	前年度比減少率38.5%(全館平均▲17.3%)であったが、工事の影響を多大に受けていると考えられる。
	利用料金の設定、徴収、還付等手続は適切か								
【保守点検並びに清掃業務等】									
①業務の履行確認	建物、機械等の点検・保守は定期的に行われているか	A	9/9 消防設備点検	A		A	安全チェックリストを毎日記入 3/1 遊具点検 3/13 消防点検	A	
	定期的に清掃、除草、剪定等は行われているか	A	月に一回程度、周囲の草取りを慣行	S	環境美化の意識が、近隣住民との良好な関係に繋がっている。	A	3/13 樹木剪定 衛生チェックリストに基づき清掃	A	
	異常、不具合等を発見した場合、速やかに市に報告しているか	A	改修工事の為適宜、市及び工事業者と連携して運営している	A		A	改修工事のため、適宜現場監督を通して報告	A	
	利用者に対し、危険箇所の注意喚起を行っているか	A	掲示及び児童同士での注意喚起を行っている	A		A		A	
	破損箇所等が見つかった場合、適切に修繕等は行われているか	A	机やイスの補修等を随時行っている	A		A	床のさざくはれはやすりで削り、養生テープで補修。引継業者と相談し幼児の廊下部分はジョイントマットを敷く。	A	
	修繕等の履歴を適切に管理しているか	A		A		A	ファイルにて保存。 改修工事の予定などもファイル保存済。	A	
	備品は適切に管理しているか	A		A		A	今年度2回備品チェック済。	A	
	消耗品等は適切に補充しているか	A		A		A		A	
	【事業の実施に関する業務】								
	指定事業は適切に実施されたか	A		S	西部との合同親子教室を開催。	A		S	西部との合同親子教室を開催。
	自主事業は適切に実施されたか	A	①5/11 レクリエーションを体験しよう (レクリエーション指導部オオタカ) 参加者計12名 ②7/22-27、8/26-31夏休みを楽しもう 参加者計227名	S	夏休みイベントが大変な盛り上がりを見せた。	A	11/14「避難訓練～子ども110番の家に行つてみよう～」を実施。小学生11名参加。	S	施設内の活動に制約がある中、施設外での活動を企画した。
【個人情報の取り扱い】									
	個人情報等の管理は適切に行われているか	A	鍵のかかる場所で保管	A		A		A	
	【①に係る指定管理者の自己評価】	豊明市の規定に基づき運営を行っている。改修工事等もあり、来館者数は昨年度比で76%と減少したが、一昨年度比では107%であり、利用は安定している。また、児童親子さんからは「今年度から支援センターが2つから1つになり、その分ひまわり児童館に行く日が増えました。」「児童クラブと併設ではないので、小さな子どもとゆっくり過ごせます。」という声もかなり多くいただき、ひまわり児童館ならではの運営ができるいると感じる。新規事業を2つ開催し、改修工事中でも来館者が楽しく過ごせるように努め、1年生を迎える会では上級生から1年生に危険箇所を伝える機会を設ける等、子ども達自らが安全に配慮しながら過ごせるような活動も行うことができた。				改修工事で部屋の数が半分になり、また開館している様子が分かりづらかった等で、来館者数は昨年度より減少したが、改修工事中でもできる行事や、新行事等も開催し、常連の来館者確保はできた。 ・避難訓練も月に1回のペースで実施しているが、後期は「110番の家に行く」「児童館の消火器の場所を探検」「さすまたは1本では意味ないという実演」「職員が近くにいない、電話応対で指示ができない」という状況下で緊急地震速報を鳴らして、自分たちでどう動くか等、子どもたちがより主体的に考えたり、防災に興味を持つもらったりできる訓練を実施することができた。			
	【①に係る施設所管課の評価】	周囲の草取りを率先して行う姿勢は、施設の美化や利用者の快適さに直結し、地域への貢献意識を示すものである。また、改修工事により活動場所に制約がある中で、他館と連携して事業を実施したことは、柔軟な対応力と新たな取組に挑戦する姿勢を示している。さらに、夏休みのイベントに多くの参加者が集まり好評を得たことは、児童館の魅力や運営力を高め、地域からの信頼を強める意義がある。				A	他館と合同で事業を実施し新たな試みに挑戦したことは、協働による相互の学びや交流の拡大につながる意義がある。また、改修工事による活動場所の制約を前向きに捉え、館外で避難訓練を行うなど工夫した点は、安全教育の充実と活動の幅を広げる取組として評価できる。	区 分 評 価	A

区分	項目	令和6年度 前半期(4~9月期)				令和6年度 後半期(10~3月期)			
		指定管理者	指定管理者 備考	市	市 備考	指定管理者	指定管理者 備考	市	市 備考
② サービスの質の評価	【施設の運営状況に関する事項】								
	窓口対応は適切に行われているか	A	前期相談件数は11件	A		A	後期の相談件数は5件	A	
	アンケートを実施するなど、利用者の意見を聞いているか	A	意見などがあれば都度検討及び対応をしている	A		A	2-3月に実施済み	A	
	苦情や要望等に対して迅速にかつ適切に対応しているか	A	苦情等はその都度市に報告及び改善を行っている	A		A	後期は苦情はなし	A	
	事故等が発生した場合、速やかに市に報告しているか	A	大きな事故等の発生はなし	A		A	1月発生の歯折の怪我は速やかに市へ報告	A	
	施設の清掃業務や衛生管理は適正か	A	衛生チェックリストに基づき清掃を実施	A		A	衛生チェックリストに基づき清掃を実施	A	
	貸出備品等は良好に保たれているか	A		A		A		A	
	実施された自主事業等は満足できる内容であったか	A	より多くの方に参加いただけるよう、曜日を分けて行うなどの工夫を行った	S	夏休みイベントが大変な盛り上がりを見せた。	A	イベントには新規来館者の参加があり、周知の効果はあった。	A	
③ サービス提供の安定性の確認	【指定管理者が設定したサービス水準に関する事項】								
	各職員がテーマをもって改善活動を実施しているか	A	より良い行事となるよう、毎回話し合いをしながら計画・実施を行った	A		A		A	
	乳幼児・児童ひとりひとりの年齢や発達状況に柔軟に対応しているか	A		A		A		A	
	掲示物・展示物に創意工夫がなされているか	A	今期は「木」をテーマにした統一性のある展示物コーナーの作成を心掛けた	A		A		A	
	保育の質を高めるためのミーティングが設定されているか	A	月1回程度、定期的に実施	A		A		A	
	【②に係る指定管理者の自己評価】	近隣住民からの要望は職員で連携し速やかに改善を行ったり、来館者の要望もできる限り取り入れたりする運営に努めた。具体例としては、「身長計が欲しい」と幼児親子さんからの要望を受け入れて設置したり、「描いたイラストを掲示してほしい」という小学生の要望から、イラスト掲示コーナーを設けたりした。また今年度は改修工事中の運営となり、「においが発生する時期」「音が出る時期」等、工事の進捗状況等をお便りに記載し、利用者に事前に工事の様子をご理解いただけるよう配慮している。				・今年度は改修工事の中での開館となり、工事の予定を予め便りで周知をしたり、停電等がある日は館内掲示やその当日に来館者へアナウンスをしたりして、できるだけ館内で快適に過ごしてもらえるように努めた。 ・以前は〇〇ができたのに「以前は〇〇の玩具で遊べたのに…」という声も実際にあったが、都度丁寧に説明することを心掛けた。 各職員が得意なことを発揮し、手芸や工作、運動遊びをバランスよく行事を展開することができた。			
	【②に係る施設所管課の評価】	改修工事に関して積極的に利用者へ周知を行ったことは、安全確保とトラブル防止につながり、信頼性の高い運営姿勢を示している。また、活動に制約がある状況下でも実施したイベントが盛況であったことは、工夫を凝らした企画力や運営力を示すものであり、利用者の満足度向上にも大きく寄与している。				改修工事中に行った利用者アンケートでネガティブな意見がほとんど見られなかったことは、日頃から丁寧な説明や情報提供を行っていた成果である。利用者に安心感を与え、信頼関係を維持できている点に意義がある。			
	事業収支は黒字になっているか	B		B	上半期は赤字収支である。	B		B	下半期は赤字収支である。
③ サービス提供の安定性の確認	必要な帳簿は備えられているか	A		A		A		A	
	経理処理は適正に行われているか	A		A		A		A	
	収入増加のための取組がなされているか								
	管理経費縮減に関する取組がなされているか	A		A		A		A	
	団体の経営状況は健全で安定しているか	A		A		A		A	
	【③に係る指定管理者の自己評価】	人件費等が収支に影響を及ぼしているものの、安定して運営することができている。				評価Bとした理由： 安定的な運営を行うため、人員の配置を充実させたことによる人件費の負担増。 加えて、今年度は全社あげて処遇改善に取り組み、今期は12月に賞与に加え全職員に処遇改善一時金を支給。それにより施設単体の事業収支は赤字となっているが、施設自体の運営ならびに企業全体としての事業収支は安定している。			
	【③に係る施設所管課の評価】	・館自体の事業収支は赤字であるものの、施設自体の運営及び企業全体としての事業収支は安定している。				・館自体の事業収支は赤字であるものの、施設自体の運営及び企業全体としての事業収支は安定している。			

#### 【項目評価】

- S（優 良）：協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準を上回っている。  
A（良 好）：協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿っている。  
B（課題あり）：協定書、仕様書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある。  
C（要改善）：協定書、仕様書等が遵守されておらず、改善が必要である。

#### 【区分評価】

- S（優 良）：項目評価が全てA以上、かつSが過半数以上。  
A（良 好）：項目評価が全てA以上。  
B（課題あり）：項目評価にBがある。  
C（要改善）：項目評価にCがある。